

いよいよ 6 月です。 会長の皆さんこんにちは。

国際ロータリー第 2580 地区
2024-25 年度ガバナー

石川 彌八郎



4 月 24 日 (木) 地区大会本会議で参加者の皆さんに感謝の気持ちを込めたご挨拶をいたしました。

地区大会には、多くの方にご参加いただきありがとうございました。2580 地区としては初めての多摩地区での開催でした。いかがでしたか立川の街は？なかなかの街だったでしょ？ 駅の利用者も多く一日の乗降者数は、JR 東日本の中では上野に次いで第 14 位。遠路お越しいただいた方々にはあらためて感謝を申し上げます。

さて、本日は地区大会でのご挨拶で申し上げたかったことを改めてお伝えいたします。昨年の 7 月からガバナーを務め、皆さんのクラブを訪問し、様々な式典にも参加させてもらい、多くの方とのご縁を活かすことができました。ガバナーを務めたこの数カ月は僕にとって、改めて人生を振り返る良い機会となりました。人生には選べるものと選べないものがあります。いつどこに、誰として生まれるか。その時から人生は始まるのですが、それを選ぶことはできません。僕は、1964 年 6 月 11 日、福生市で石川酒造を営む石川家の第一子長男として生まれました。祖父母や叔母たちがいる 8 人家族の中に生まれたので、みんなに可愛いがられて育ちました。

少し大きくなり学校に通う頃になると、跡継ぎとしての自覚を感じるようになってきました。徐々にそのプレッシャーも感じるようになってきました。そんな僕を、両親、祖父母は上手に育ててくれたのでした。考えてみれば、父も祖父も同じ環境に生まれたので、育て方を心得ていたのでしょう。その教えを今、言葉に表す

のなら「人は一人では生きていけない。人は人の役に立つ生き方をしなければならない。そんな生き方をしていれば、困ったことが起きてもあわてることはない、黙っていても近所の人やご縁のある人たちが助けてくれるから。そうすれば、何とかやっていけるものだ。困ったときはお互い様、だから、太郎も困っている人がいたら助けてあげなさい。」祖父や父は時々、僕の手を取り公園へ散歩に連れて行ってくれました。祖母や母は縁側で日向ぼっこをしてくれました。彼らは言葉ではなく、目や肌でそれを伝えてくれていたのでしょう。この辺までは選べない人生です。

その後は、どの学校にいくか、どんなクラブに入るかなど、自分で考えて選ぶ人生が始まります。二十代、三十代を経て四十代になり、僕はロータリークラブに入会する人生を選択しました。そして「職業奉仕」の概念と出会いました。「職業奉仕」の概念を噛み締めていると、何とも言えない、清々しい気持ちが心に漂い、幸せな気持ちを味わうと同時に、「そういえば、この職業奉仕の概念は、子供のころ両親祖父母が僕に教えた

かったことと同じではないか」という、ある種の懐かしさを感じたのです。その後知ったことでしたが、祖父の石川彌八郎は、東京福生クラブの初代の会長だったのです。時は十年ほど遡りますが、僕は三十歳からハーモニカを吹くようになりました。「好きこそものの上手なれ」それなりに上達した時でした。僕を心配してくれている音楽関係の方から「太郎君、ハーモニカ上手になったね。でも気を付けておいた方がいいよ。あなた将来社長でしょ。音楽なんて誰が見たって道楽だから、上手になればなるほど仕事をしていないと思われるのが関の山だからね」。そして僕は、ハーモニカを人生の中にどう位置付けるべきかを考えたのです。その時思い出したことは、両親祖父母の教えである「人の役に立つ生き方をしなさい」でした。本業で人の役に立つのは当然のことですが、その他のことでも、人の役に立っていれば、文句はなかろう。「ハーモニカも、いっそうもっと上手になって、ジャンジャン稼いで、そのお金は、寄付でもなんでも、世の中のために使っちゃおう。そうすれば、世に憚る(はばかる)こともないだろう」が結論でした。それ以来、演奏料として頂いたお金は別の貯金通帳に貯め、日本赤十字社などに寄付をしました。そして44歳になった2008年には紺綬褒章も頂きました。東日本大震災が起きたのは、その3年後、そして「ロータリー希望の風」が生まれました。震災の翌年には僕は会長を務め、「ロータリー東日本大震災青少年支援奨学金希望の風」の経緯やら何やらを耳にする機会が増えました。耳にするたびに、あまり愉快的な思いはしませんでした、すでに始まってしまったものなので、過去の経緯などを議論しても仕方がない。最後の一人が卒業するまでやり通さなければ、ロータリーの無責任さを世に露呈することになってしまう。会員拡大には当然逆風となってしまおうと考えました。ロータリークラブの精神である「困っている人を助ける」ことは、すなわち社会的弱者に手を差し伸べることもあります。ロータリーも一つの社会です。このロータリーのなかにも、実は社会的弱者が存在します。それが「希望の風」です。「ポリオプラス」を知らないロータリアンはいないでしょう。しかし「希望の風」を知らないロータリアンは沢山います。知らないどころか「あれは、ロータリーの正式なプログラムではないので…」などとの声も聴いたことがありました。正式であろうがなかろうが、それを生んだのはロータリーであることは間違いありません。その時の勢いで産むだけ産んで、後になって「俺とは関係ない、育てる筋合いでは

ない。」それはないでしょ。「これは何とかしなければ」と思い、暫くは、希望の風一本でハーモニカを吹くことにしたのでした。

しかし、いくら上手にハーモニカが吹けるようになったからと云って、大金を稼ぐことはできません。せいぜい、数千円から数万円。これではインパクトがないので、少し手段を考えました。例えば30万円貯まったとします。それを寄付しても30万円にすぎません。そこで、それを元手に、少し大きなコンサートを企画して、60万円にして寄付すれば、倍の効果が得られ



ます。最終的には、福生の市民会館大ホール、1,000人の会場でのコンサートを企画しました。さすがに僕の名前だけで1,000人は呼べないので、杉山清貴さんに協力をしてもらい

ました。結果としては、まずまずの成功で600万円を寄付することができました。

このコンサートはそれなりに成功しましたが、ある問題にぶつかりました。それは、このプロジェクトに協力したくても、コンサート当日に別の予定が入っている人はなかなかチケットを買ってくれないのです。中には、現金書留が届き、その中に「当日は予定があるので…」とのお手紙が入っている場合もありました。大変ありがたいことです。

そこで僕が思い出したのは、1985年の“We are the world”でした。レコードを作りそれを売り、その売り上げを寄付する。そうすれば、コンサート当日に都合が悪い人でも協力をいただくことができます。そこで、僕がリーダーのTokyo Blues BandでCDを作ることにしました。アルバムのタイトルは当然「希望の風」このCDは3,000円でエレクトレコードからの発売です。僕は、チャリティーだからと云って、その本来の価値よりも高く売るとは好きではありません。従って、しっかり3,000円のクオリティーは保たなければならないと考えました。そもそもバンドメンバーは豪華で、矢沢永吉さんがいた元キャロルの内海利勝さん、宇崎竜童さんがいたダウン・タウン・ブギ・ウギ・バンドの新井武士さん他、チッコソウマさん、大西真さんらで固めてあります。オリジナルに加え、キャロル、ダウン・タウン・ブギウギ・バンドの名曲も収録。地区大会で流れた「沖縄ベイブルース」も入っています。

ロータリーの様々なイベントで販売します。売上はすべて希望の風に送りますので、皆さん、寄付したと思って買ってください。

希望の風の委員会は、さっさとお金を集めて、さっさと解散すべきだと考えています。ポリオもそうです。さっさと根絶させて、さっさと解散すべきです。僕はこれがベトナム戦争のようになることを心配しています。ベトナム戦争は長期化し泥沼化して、反戦運動がおこり、それが戦争終結に影響も与えました。まだしばらくはそんなことはないでしょうが、同様な状況に陥ったら大変です。

さて、残すところは、地区納めの会とカルガリー国際大会です。納めの会はプロバンドが入ります。石川年度のガバナー補佐を中心に役員の方々に歌ってもらいます。生バンドはカラオケとは一味違いますよ。

PHS&MD の集い



歓迎晩餐会



カラオケの出現により、生バンドはあっという間に駆逐されました。しかし、一流ミュージシャンはそれなりにその道で生活をしています。昨今、AIの台頭により職を失う人が出てくると心配されていますが、それと同じようなことです。技術や機械が発達しても、最後は人と人、一流の職人は必ず残ります。納めの会では、そんなミュージシャンの音色をお楽しみください。カルガリーでは、ガバナーライブを開催します。カナダにもミュージシャンの友達がいる。彼らと一緒に楽しい夜を過ごしたいと考えています。お待ちしております。会長の皆さんどうもありがとうございました。仕事でも趣味でも、人のためになるような生き方をしてください。トルストイの言葉で締めくくります。「人が生きるたった一つの意味は人を幸せにすることにある」

新入会員昼食会



本会議



懇親会



第 2580 地区クラブ数・会員数

2024 年 7 月 1 日時点 クラブ数 73RC
 正会員数 2,997 名 (内女性 320 名・10.68%)
 2025 年 4 月 30 日時点 クラブ数 73RC
 正会員数 3,085 名 (内女性 351 名・11.38%)
 4 月の入会者数 38 名 (内女性 12 名)
 4 月の退会者数 11 名 (内女性 1 名)
 本年度の増減数 88 名

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

8	瀧澤 一郎	【東京葛飾中央】
6	藍川 眞樹	【東京新宿】
5	山本 行徳	【東京新宿】
4	池田 弘孝	【東京新宿】
3	加藤 秋成	【東京新宿】
	狩野 伸彌	【東京新宿】
	斉藤 源久	【東京新宿】
2	新居 靖之	【東京新宿】
	高野 治彦	【東京新宿】
	舘 勝宏	【東京新宿】
	立川 昭吾	【東京新宿】
	宮崎 久嗣	【東京小平】
1	熊谷 誠	【東京新宿】
	野吾 行範	【東京新宿】

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー

野村 勉	【東京新宿】
富田 すゑ子	【東京葛飾中央】
内野 賢一	【東京小平】
高木 亮教	【東京小平】
志村 実	【東京青梅】
佐久田 綾子	【浦添】

米山功労者・メジャードナー

12	八木 敏廣	【東京新宿】
----	-------	--------

米山功労者・マルチプル

4	山口 良人	【東京新宿】
3	落合 宙一	【東京新宿】

5 月 19 日まで

謹んで哀悼の意を表します

吉村 利文 (よしむら としふみ) 会員

逝去日 2025 年 4 月 3 日 享年 67

入会日 2013 年 10 月 16 日

TS 不動産管理株式会社 代表取締役

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (5)、

ポール・ハリス・ソサエティ、米山功労者